

全国儀式サービスより

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

全国儀式サービスは、相互扶助の精神からスタートした会社です。

企業や組合などの団体の福利厚生サービスの一つとして、

葬儀支援サービスに加え、

遺品整理や相続手続きのサービスも提供しております。

葬儀・相続手続き・遺品整理などでお悩み・お困りの方はもとより、

ちょっとしたご相談などございましたら、

お気軽に下記のコールセンターへご連絡ください(年中無休。通話・相談無料)。

葬儀支援サービス

葬儀のご手配、ご相談窓口はこちら [全国儀式サービス] で検索

全国儀式サービス コールセンター

相談無料  **0120-421-493** 24時間365日対応

ヨニイシクミ



2024年6月発行

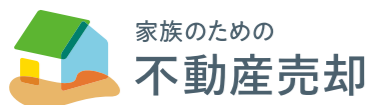
終活支援サービス

不動産売却・遺品整理・相続に関するご相談窓口はこちら

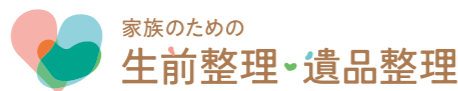
全国儀式サービス コールセンター

相談無料  **0120-204-122** 24時間365日対応

音声ガイダンスに従って、ご希望のサービスをお選びください



詳細はこちら



詳細はこちら



詳細はこちら

はじめての葬儀

\\ 後悔しないための //

あんしん『事前見積り』 依頼・検討ガイド

このガイドは、ご心配な方が将来お亡くなりになる前に、

葬儀の内容や費用について見積りを依頼・検討する際に役立つ情報を記載しています。

理解を深め、満足のいく葬儀を行っていただければ幸いです。

次のような方は、
事前の見積りが
特におすすめです。

- 親と離れて暮らしている (いつ・どこに相談したら良いか分からない)
- 葬儀の経験がほとんどない (何を相談したら良いか分からない)
- 葬儀を検討しようか悩んでいる (親に内緒で葬儀のことを考えるのは後ろめたい)
- 子供に心配かけたくない (自分自身の万が一の際に備えておきたい)

1. 事前に見積りを取っておくと良い理由

通常、お亡くなりになった後は、
病院側から数時間中に故人様の搬送を促されるため、
精神的にも時間的にも余裕のない中で、
搬送および葬儀の手配を進めることになります。

結果として、

- 故人様を搬送してもらった葬儀社にそのまま依頼してしまった
- 費用だけを見て決めてしまった
- 故人様と一緒に過ごす時間を十分に取れなかった

ということが少なくありません。

満足のいく内容で葬儀を行いたいのであれば、
事前に見積りを取ることをおすすめします。

もくじ

1. 事前に見積りを取っておくと良い理由 P.2
2. 葬儀の全体費用の内訳 P.3~4
見積りを依頼する前に知っておくと安心です。
3. 見積り依頼の準備 P.5~6
必要な情報を整理しておくスムーズに依頼できます。
4. 見積りの依頼方法 P.7~11
基本は3ステップです。
5. 見積りの検討方法 P.12~14
見積書で確認しておきたい点をまとめています。
6. よくあるご質問 P.15~18
見積りを依頼・検討する中で生じる疑問をまとめています。
7. 用語集 P.19~22
打ち合わせの際にご活用ください。

どのページから見ても、分かるようになっていきます。興味のある所からご覧ください。

準備しなければならないことが明確になります

ご葬儀の費用

現金支払いの場合が多いため、まとまった金額のお金を用意しておく必要があります。

病院からのお帰り先

お亡くなり後、数時間以内に病院から搬送することが求められます。

遺影写真

写真を探すだけでなく、選ぶのにも時間を要します。時間に余裕のある今のうちから探しておきます。

宗教・宗派の確認

葬儀は、信仰する宗教・宗派で行うことが一般的です。菩提寺(P.19)の有無も確認が必要です。

お布施

葬儀で来ていただいた宗教者に対するお礼です。現金で用意しておく必要があります。

お墓(納骨場所)

お墓の有無や場所を確認しておきます。無い場合には用意する必要があります。

など

不安が緩和されます

家族のケア

ご心配な方の介護や病気の治療に専念できます。また自分の万が一の際にも、子供が迷わずに手配できます。

万が一の時の対応

依頼先が決まっているため、時間がなく、精神的に余裕がない場合でも慌てません。

葬儀社の良し悪し

事前見積りの際の受け答えや見積書の内容から、対応の良し悪しが事前に分かります。

葬儀の段取り

あらかじめ内容を決めているため、葬儀前の打ち合わせや準備が円滑に進みます。

葬儀の内容

冷静な時に決めているため、内容・費用の両面で後悔なく執り行えます。

葬儀に誰を呼ぶか

どの範囲まで葬儀に参列してもらうか、その時に悩まずに済みます。

など

終活という言葉も定着した現在、早い段階で葬儀の見積りを取ることも普通になっています。実際に全国儀式サービスをご利用になった方の**7人に1人が事前に見積りを依頼**されています。

2. 葬儀の全体費用の内訳

見積りを依頼する前に知っておくと安心です。

葬儀に関連する費用は大きく3つに分けられます

① 葬儀品目

葬儀を行うにあたり必要となるサービスや品目の費用。

 祭壇	 お棺	 ご遺影	 寝台車	 供花	1	 マイクロバス	 霊柩車
 忌中額	 枕飾り	 会葬礼状	 お位牌	 お供物	2	 ご遺体保存用品	 収骨容器
 お清めセット	 式場内・外装飾用品	 見積り係員派遣	 儀式係員派遣	 中陰飾り(後飾り祭壇)	3	 火葬料	 式場使用料
 諸官庁手続き	 門標	 受付・事務用品	 庭園セット	 高張提灯		 湯かん	 諸経費

② 飲食接待・返礼品

会葬者をもてなすためのサービスや品目の費用。

 精進落とし	 香典返し	4	 会葬返礼品	 通夜振る舞い
---	--	----------	---	--

③ 寺院関係

葬儀を執り行った宗教者へのお礼。


5	 お布施
----------	---


参考：費用を検討する際は、香典も考慮しておきましょう

葬儀費用の一部は、会葬者からの香典によって賄われます。実際に遺族が持ち出す負担は、総額から香典額を差し引いた額になります。


地域や喪家によって異なる品目があります


1 状況によって要不要が分かれる品目

【例1】マイクロバス
 斎場～火葬場～斎場の移動の際、同行者の数が多い場合に使用します。自家用車に対応する場合があります。


【例2】霊柩車
 故人様を火葬場へ搬送する車です。公営斎場(火葬場が併設された斎場)で葬儀を行う場合は、必要ありません。


2 地域や葬儀の日程によって変動する品目

【例1】故人様の保存用品・安置施設
 故人様を葬儀社の斎場などでお預かりする場合に発生する費用で、葬儀までの日程によって変動します。


【例2】収骨容器(骨壺)
 地域によっては、火葬料の中に費用が含まれている所があります。また骨壺自体を使用しない地域もあります。


3 公営・民営で料金が異なる品目

【例1】火葬料
 運営する自治体によって費用が変わります。東京都などでは民営の火葬場もあり、費用が異なります。


【例2】式場使用料
 公営斎場は、自治体の運営で費用の安いことが特長です。葬儀社の斎場は、公営斎場と比べて費用が高い分、設備が充実しています。

4 参列者の人数によって変わる品目

【例1】会葬返礼品
 参列者へお渡しするお礼の粗品です。想定される参列者の数だけ用意します。P.21にある詳細もご参考ください。

【例2】通夜振る舞い
 通夜で参列者をもてなす料理です。参列者の数を想定して用意します。地域によっては行わない所もあります。

5 宗教・宗派や信仰の深さによって変わる品目

【例1】お布施
 来訪した僧侶の数や授かった戒名の内容に合わせた金額にするのが一般的です。葬儀費用には含まれず、僧侶に直接渡します。

地域や喪家によって異なる品目は数が多いので、事前に見積りを依頼して検討することをおすすめします。

3. 見積り依頼の準備

必要な情報を整理しておくスムーズに依頼できます。

基本事項

<ご心配な方について>

お名前			会員とご心配な方との続柄		
生年月日	年	月	日	年齢	性別
住所*	〒				
電話番号					
現在いらっしゃる場所	病院/施設名				
	住所 〒				
	電話番号				

*住民登録されている住所。火葬場(火葬料)を確認する際に必要となります。

<あなた(ご連絡者)について>

お名前			ご心配な方との続柄	
住所	〒			
電話番号				
見積りの回答先*	お名前			
	住所 〒			
	電話番号			
所属団体名				
会員名				

*あなた(ご連絡者)以外の方へ回答を希望する場合にご記入ください。

検討事項

各項目の詳細は、P.9~10をご覧ください。

<万が一の際について>

お帰り先(搬送先)	<input type="checkbox"/> ご自宅	<input type="checkbox"/> 民営の安置施設	<input type="checkbox"/> 寺院
	<input type="checkbox"/> 葬儀社の安置施設	<input type="checkbox"/> その他()	

<葬儀について>

宗教・宗派	<input type="checkbox"/> 仏教	宗派 _____ 宗
		菩提寺 _____ 寺
		住所 〒 _____
		電話番号 _____
	<input type="checkbox"/> 神道	<input type="checkbox"/> その他()
	<input type="checkbox"/> キリスト教(カトリック・プロテスタント)	
ご家族・ご親族の参列者数	名	一般の方の参列者数 名
予定している地域	都道府県	区市町村
希望の会場	<input type="checkbox"/> 葬儀社の直営斎場 <input type="checkbox"/> 公営斎場	<input type="checkbox"/> 寺院 <input type="checkbox"/> 集会所など
希望の形式	<input type="checkbox"/> 二日葬 (通夜・告別式を行う)	<input type="checkbox"/> 一日葬 (告別式を行う)
	<input type="checkbox"/> 直葬 (火葬のみ。通夜・告別式は行わない)	
	*家族葬は、二日葬・一日葬のうち、家族・親族や親しい友人など少人数にしたものを言います。	
希望の予算	万円(税込)	
その他に伝えておきたいこと		

見積りの依頼は全国儀式サービスにお任せください

<全国儀式サービスコールセンター>

 **0120-491-499** または **0120-421-493** ※24時間365日対応

<https://www.gishiki.co.jp/inquiry>

4. 見積りの依頼方法

基本は3ステップです。

全体の流れ

①見積りを依頼する

電話またはメールで依頼します。



②打ち合わせする

対面が基本です。葬儀社によってはリモートで対応してくれる所もあります。



③見積書を受け取る

「その場で作成」「後日に郵送」「メール」場合があります。



参考：お亡くなり後は見積りを検討できる時間がありません

お亡くなり後は精神的にも時間的にも余裕が無いため、故人様を搬送してもらった葬儀社に、そのまま依頼してしまうことが多いのが実状です。

<もし別の葬儀社に見積りを依頼した場合>

- 時間がないため、電話による概算費用の確認になってしまう。

<見積りの結果、別の葬儀社に葬儀も依頼する場合>

- 葬儀の日程や場所・内容について、再度決め直す必要がある。
- 搬送から安置までの費用は、最初の葬儀社に支払う必要がある。
- 自宅以外の場所に安置した場合、再搬送する必要がある。

ということになりかねないので、事前のお見積りをおすすめしています。

4-1. 見積りを依頼する

<依頼先>

- 葬儀を予定している地域で検討します。

予定の地域が遠方の場合、直接の依頼が不安な場合は、全国儀式サービスにご相談ください。
ご希望の地域で信頼のおける葬儀社に見積りを依頼できます。

<全国儀式サービスコールセンター>

☎ **0120-491-499** または **0120-421-493** ※24時間365日対応

<https://www.gishiki.co.jp/inquiry>

<依頼方法>

- 電話またはメールで、葬儀社の案内に従って必要事項を伝えます。
斎場へ直接行っても対応できない場合があるので、事前に連絡するのが一般的です。
- 概算費用で良い(気軽に依頼したい)場合は、電話・メールのやり取りだけで見積りしてもらうことも可能なので、依頼時にその旨を伝えましょう。



4-2. 打ち合わせする

<打ち合わせの場所>

- 依頼者の指定の場所(ご自宅など)、葬儀社の直営斎場(応接室など)
※葬儀社によってはリモートで対応してくれることもあります。
※概算費用で良い場合は、打ち合わせ不要です。

<打ち合わせの所要時間>

- 1時間~2時間
※概算費用で良い場合は、電話で15分程度です。
※業務の関係で、時間帯が限定されることもあります。
※打ち合わせをして内容を決めておけば、万が一の際、打ち合わせに掛かる時間(通常2~3時間掛かる)を短縮できます。

<打ち合わせの流れ>

- 事前の場合は、葬儀を行う場所から決めていくのが一般的です。
葬儀と火葬の日程は、お亡くなりになっていないため、決められません。

<打ち合わせに出席する方>

- 喪主になる方、費用を支払うことになる方

4. 見積りの依頼方法

4-2. 打ち合わせする

< 打ち合わせの内容①：葬儀の大枠 >

故人様の搬送先(安置場所)

- 搬送先では、故人様を通夜(葬儀)まで安置しておくことになります。
- 故人様と対面できる時間に影響するため、搬送先の選択は重要です。

	面会時間	保冷設備	斎場への移動	費用	その他
ご自宅	自由	冷房とドライアイス	必要(斎場で葬儀を行う場合)	施設費無料(ドライアイス費は掛かる)	安置中は自宅を留守にできない
葬儀社の安置施設	1回あたり20分程度 時間帯の制限あり	専用の保冷設備(面会用の部屋あり)	不要	有料(単価×日数)	—
民営の安置施設	比較的自由	専用の保冷設備(面会用の部屋あり)	必要(斎場で葬儀を行う場合)	有料(単価×日数)	—
公営の安置施設	時間が決められている	保冷库またはドライアイス	不要	有料(単価×日数)	予約が必要 納棺済が条件のため、直接搬送できない

宗教・宗派

- 故人様が信仰していた宗教・宗派で行うのが一般的です。

葬儀に参列する人数

- 「家族と親族の数」の他、「友人や勤め先の関係者など一般会葬者の数」を想定して決めます。

葬儀を行う場所

- 自宅から最寄りの斎場が選ばれる傾向にありますが、長所・短所を踏まえて決めましょう。

斎場の種類(運営母体)	メリット	デメリット
直営斎場(葬儀社)	○ ●設備が充実している。 ●遺族のご要望に合わせてやすい。	× ●公営斎場と比べて費用が高い。 ●運営葬儀社に葬儀も依頼する必要がある。
公営斎場(自治体など)	○ ●使用料が比較的安い。 ●火葬場への移動が少ない(併設の場合)。	× ●人気で混み合うため、日程調整が難しい。 ●住民以外は費用が高くなる。
民営斎場(民間企業)	○ ●宗教・宗派を問わない。 ●利用者制限のない場合が多い。	× ●斎場によって設備の充実度に差がある。 ●公営に比べると費用が高め。
寺院斎場(寺院)	○ ●葬儀の他、法要でも利用できる。 ●近所にあることが多く、参列しやすい。	× ●宗教・宗派を制限している場合がある。 ●公営・民営に比べると費用が高め。
ご自宅	○ ●式場使用料が掛からない。 ●時間に制約なく故人様と対面できる。	× ●場所の確保が必要(控室・受付・駐車場等)。 ●近所への配慮(挨拶)が必要。

葬儀の形式

- 大きく分けて、二日葬(一般葬)・一日葬・直葬があります。

	流れ	搬送	安置	納棺	通夜	葬儀・告別式	出棺	火葬	初七日法要	精進落とし
二日葬		○	○	○	○	○	○	○	○	○
一日葬		○	○	○	→	○	○	○	○	○
直葬		○	○	○	→	○	○	→	→	→

※二日葬は、二日間に渡り、宗教的な儀式(通夜、葬儀・告別式)を行います。一般葬とも呼ばれます。

※一日葬は、通夜を行わず、宗教的な儀式(葬儀・告別式のみ)を一日で行います。

※直葬は、宗教的な儀式(通夜、葬儀・告別式)を行わない形式です。

参考：家族葬について

二日葬・一日葬のうち、家族・親族や親しい友人など少人数にしたものを家族葬と言います。少人数のため費用を抑えられる傾向にあります。一方で香典の数が少なくなるため、喪家にとって、費用を持ち出す割合が増えます。

< 打ち合わせの内容②：葬儀の詳細 >

葬儀品目

- 基本品目…「〇〇プラン」や「〇〇セット」といった名称で、必要な品目の一部がセット組みされていることが多いです。
- 変更品目…必要に応じてグレードアップすることも可能です。例：お棺、祭壇
- その他…状況や希望によって異なる品目があります。例：霊柩車・故人様の保管料など

飲食接待・返礼品

- 通夜振る舞い(地域によっては行わない所もあります)
- 精進落とし
- 会葬返礼品
- 香典返し(即日返し)

寺院関係(お布施)

- 葬儀社との打ち合わせでは決めません。葬儀費用(見積り)に含まれません。
- 宗教者に直接支払うため、宗教者と相談して決めます。
- 菩提寺がない場合は、葬儀社に紹介してもらうこともできます。



4. 見積りの依頼方法

4-3. 見積書を受け取る

<受け取り方>

その場で作成してもらえらる場合と、後日郵送(メール)で送ってくる場合があります。後日の場合は、通常1週間後くらいを目安に届きます。相談時の状況に合わせてくれますので、早く欲しい場合はその旨を伝えましょう。



<見積書以外の資料>

品目に関するパンフレット・斎場に関するパンフレットなどがあると検討しやすいです。見積書が送られてきた際に同封物も確認しておきましょう。

参考：提携葬儀社くらしの友の場合

くらしの友は、首都圏を担当しています。令和3年に創業55周年を迎えました。葬儀件数は年間8,000件以上の実績がございます。くらしの友に依頼すると、写真のような資料一式が見積書と一緒に送られてきます。



■ご相談資料
葬儀の相談をする際のポイントの他、プラン例・品目の詳細について紹介しています。



■斎場パンフレット
館内の設備やフロアのレイアウトなどの詳細を紹介しています。



■葬儀・法要ガイドブック
葬儀から法要までの、流れと対応のポイントを紹介しています。



■エンディングノート
葬儀以外にも、家族に伝えておきたいことを記載しておくことができます。

5. 見積りの検討方法

見積書で確認しておきたい点をまとめています。

5-1. 見積書の見方

<大きく2つの費用内訳を確認>

見積書の形式は、葬儀社によって様々です。そのため、総額はもちろんですが、下記の費用内訳について確認します。

- ① 参列者の数によらない品目の費用
 - 葬儀に必要な基本的な品目
 - 喪家の判断で追加や変更をした品目
- ② 参列者の数によって変動する品目の費用
 - 飲食接待、返礼品
 - 式場
 - 生花(式場内を飾る)
 - マイクロバス
 - など

御見積書

NO. 99999999 作成日: 2023年9月15日
見積書発行日: 2024年2月15日

ご心配な方	儀式 太郎	親族	20名	会葬者	30名
相談者	儀式 花子	場所	〇〇斎場 3階式場	火葬場	組合内
住所	〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3	コース	儀式サービス	祭壇	花祭壇
電話番号	000-000-0000	宗教	仏式		

A 儀式サービス負担金額		240,000	37 式場運営費	保安員(昼夜~急別式)	40,000
1 祭壇(花祭壇)	200,000	200,000	38 ご遺体保管料	1日12,000円×日数分	
2 霊柩	160,000	160,000	39 ご遺体保管料提供		0
3 霊柩用布団	8,000	8,000	40 写真花・祭壇花		
4 宮台車(無機式)	16,800	16,800	41 マイクロバス	1台	38,000
5 ご遺影	17,000	17,000	42 マイクロバス提供		0
6 白木台座	2,000	2,000	43 ハイヤー		
7 ドライアイス※	10,000	10,000	44 式場使用料	〇〇斎場3階式場	280,000
8 ご遺体供養品	28,000	28,000	45 式場使用料割引	儀式会員割引	▲140,000
9 枕飾り	5,000	5,000	46 火葬場休養室	組合内	20,000
10 お清めセット	3,000	3,000	C 別注文小計		238,000
11 立看板	10,000	10,000	47 遺体料理	40名(お盆外は20名分)	200,000
12 食費札状	8,000	8,000	48 自治式(標準連日)	20名分(1名4,500円)	90,000
13 火葬場案内係員	10,000	10,000	49 料理提供		0
14 お供物(祭壇用)	0	0	50 配膳(お盆)2名分	2名分(1名8,000円)	16,000
15 供養用品	0	0	51 配膳(お盆)2名分(別式)	2名分(1名8,000円)	16,000
16 墓前設備	0	0	52 飲料	標準	29,000
17 受付用具	0	0	D 料理・飲料小計		351,000
18 放送設備	0	0	53 ハンカチ(会葬者用)	50個(1個600円)	30,000
19 案内板	0	0	54 お返し(遺族連日)	50個(1個3,000円)	150,000
20 高橋様灯	0	0	55 返礼品提供		0
21 家族水引車	0	0	E 返礼品小計	※使用した分の課税になります 返品も可算です	180,000
22 門前自衛隊車	0	0	56 喪主花	喪主花 1対	60,000
23 回転灯	0	0	57 喪主花提供		0
24 特殊提供品	0	0	58 その他供養品	依頼主のご負担になります	
25 供養箱	0	0	F 生花・供物小計		60,000
26 宮台車別送※	16,800	0			
27 湯かん・納棺	90,000	0			
28 ドライアイス追加※	10,000	0			
29 宮飾費献香	30,000	0			
30 小物用品	30,000	0			
31 霊柩車	25,400	0			
32 後飾り祭壇	8,000	0			
33 収骨容器	15,000	0			
34 旅行運営費	35,000	0			
35 火葬料	44,000	0			
36	0	0			
B 葬儀費用小計	780,000	475,800			304,200

	税別価格	税込み価格(10%)	
A	基本セット	240,000	264,000
B	葬儀費用	304,200	330,220
C	別注文品	238,000	261,800
葬儀基本費用【A+B+C】		856,020	
D	料理・飲料	351,000	386,100
E	返礼品	180,000	198,000
F	生花・供物	60,000	66,000
おもてなし・お供え費用【D+E+F】		650,100	

※上記のほか、寺院関係費用が必要となります。
※ドライアイスは、日程が短びた場合追加料金が発生いたします。
※お盆は、実行距離・待機時間・夜間対応等の条件により金額が変動します。
※価格は別途に付いた配膳料は料理数で変動いたします。
※お料理をご利用の際の配膳料は料理数で変動いたします。
※34 旅行運営費(葬儀費用小計-旅行運営費-火葬料)×5%【千円未満切り捨て】。
※54 お返し連日は食料品全般(アルコール類を除く)の場合、軽減税率(8%)の対象となります。

※寺院関係費は、P.10で紹介した通り、見積書には含まれません。
※御見積書はイメージです。葬儀社によって内容・レイアウトが異なります。

5. 見積りの検討方法

5-2. 見積書を検討する際のポイント

不明瞭な見積書は、支払い時にトラブルの元となります。
下記のチェックリストを参考に、見積書を確認してみましょう。

<見積書チェックリスト>

- 総額および内訳が記載されている**
予算内で収まっているか、内訳が明確になっているか、確認しましょう。
- 内容が分かりやすい**
分からない箇所が出てきた場合は、葬儀社に確認しましょう。
- お願いした品目がすべて入っている**
過不足を確認し、変更箇所がある場合は、葬儀社に再度依頼しましょう。
- 葬儀の時に費用が増減する品目が明確になっている**
通夜振る舞いや返礼品などは、葬儀後に見積書より支払金額が高くなる場合があります。
変動する費用について事前に確認しておきましょう。
- 単価・数量・金額が明確になっている**
不明瞭な箇所がある場合は、葬儀社に確認しましょう。
- 見積書に有効期限の記載がある**
記載が無い場合や有効期限を過ぎた場合は、葬儀社に再度依頼しましょう。

5-3. 見積り担当者の対応を検討材料にする

会社の窓口となる担当者が、その会社の社風を表していることが多いのは、葬儀社でも同じです。
見積り時の対応が好ましいものであったか検討してみましょう。

<対応例>

- 各品目の特徴やメリット・デメリットを分かりやすく説明してくれた。
- 葬儀に関する要望や質問に対して真摯に答えてくれた。
- 追加費用の恐れがあることも伝えてくれた。

<全国儀式サービスでのご利用者様の声>

言葉もとても丁寧で、早急に対応していただきました。初めてのことでしたが、分からないことを尋ねた時も丁寧に対応していただきました。必要ない項目などもアドバイスしてくれて、本当だったら利用すると葬儀屋さんの方が利益が上がるのにもかかわらず現状を教えてくださいました。未就学児が多かったのですが、料理はお子様ランチ用もありますと色々アドバイスいただきました。



最初の電話で分かりやすく優しい言葉づかいで対応してくださり安心しました。担当してくださったHさんも、とても丁寧で安心することができました。



病院で紹介された葬儀社と迷いましたが、先にTELしたこちらの対応が丁寧でしたので、もう1社は連絡せず決めました。



何からして良いか分からない中、とりあえず連絡を取ってみたら、無理なく進めていってもらえたので、大変助かりました。よく分からない中で、こちらの考えを汲み取って話を聞いていただけました。手配をしてもらえて、不安が軽くなりました。



電話でしか事前の打ち合わせができませんでしたが、こちらの気持ちを一番に考えて対応していただき、また、気付かない所をさりげなくフォローしていただきとても感謝しております。急な葬儀にもかかわらず担当のNさんはじめ、スタッフのみなさんの自然で心のこもった対応にとっても感謝いたします。ありがとうございます。
家族が遠く、知り合いの葬儀社がいなかったので、とても助かりました。



6. よくあるご質問

見積りを依頼・検討する中で生じる疑問をまとめています。

<見積りの依頼時>

Q. 土日祝日に見積りの依頼や打ち合わせをお願いできますか？

A. 葬儀社は年中無休のため、対応可能です。ただし、業務の関係で対応できない場合があります。電話で希望の日時を相談してみましょう。

全国儀式サービスは見積りの依頼を24時間365日承っております。お気軽にご連絡ください。

<全国儀式サービスコールセンター>

☎0120-491-499 または
0120-421-493 ※24時間365日対応
<https://www.gishiki.co.jp/inquiry>

Q. 見積りを依頼したら(受け取ったら)、その葬儀社から催促の連絡は来ますか？

A. 事前相談後に葬儀社から連絡が入ることは基本的にありません。見積書の到着確認の電話は来ることが多いようです。見積書の中で分からない内容があれば、その時に聞いてみましょう。

<見積りを検討する時>

Q. 不明点の確認や追加の見積りは、葬儀社の担当者に連絡すればよいですか？

A. 葬儀社に連絡して担当者を取り次いでもらうようにしましょう。全国儀式サービスに依頼した場合も、葬儀社に連絡してください。

<見積りの打ち合わせ時>

Q. その場で決められない項目などは出てきますか？

A. 葬儀の日程によって変わる品目が挙げられます。火葬場や希望の斎場(式場)はその時の空き状況によります。安置日数も連動します。また参列者数によって変わる品目が挙げられます。料理(通夜振る舞い・精進落とし)や供花は関係者に計報連絡をした後に数量の決まることが多いです。

<相見積りをする時>

Q. 複数社に見積りを取る時の注意点はありますか？

A. 正確に比較するために、参列者などの条件は同一にしておきましょう。

<見積書を受け取る時>

Q. 他の家族に見つからないように郵送してもらうことは可能ですか？

A. 可能です。表からは葬儀だと分からない封筒に入れてお送りできます。打ち合わせの時に依頼しましょう。

Q. 相見積りをしたら、金額に大きな差が出ました。これはなぜですか？

A. 人件費、設備費(斎場や安置施設など)、自社対応か下請け対応か等が影響していると考えられます。どの項目で大きな差が出ているか確認してみましょう。

Q. 各社で見積書の項目がバラバラの場合、どうしたら良いですか？

A. 見積書の書式は、基本的に各社でバラバラです。記載の項目に過不足が無いが、各社の見積書を見比べて検討しましょう。

<見積書を受け取った後>

Q. 見積りを依頼したら(受け取ったら)、その葬儀社に依頼しないといけませんか？

A. 必ずしも依頼する必要はありません。ただし、お急ぎの場合(お亡くなりになった後)は、精神的・時間的に余裕のないことが多く、故人様を搬送した流れで、その葬儀社に依頼することが多いです。そのため時間に猶予がある段階で見積りを依頼することをおすすめします。

<葬儀を依頼する時>

Q. 見積りの担当者と、葬儀の担当者は同じですか？

A. 必ずしも同じとは限りません。そのため、葬儀を依頼する際には、事前に見積りを取ったことを伝えましょう。その後の流れがスムーズになります。なお、全国儀式サービスを通して見積りを取った場合は、必ず全国儀式サービスに連絡してください。

6. よくあるご質問

<全国儀式サービスについて>

Q. 全国儀式サービスと他社（インターネットで葬儀を仲介する会社）の違いは何ですか？

A. 一言でいうと「お客様のご要望に柔軟に対応できるかどうか（融通が利くかどうか）」です。
P.4で紹介したように、地域や喪家によって異なる品目が多いため、全国儀式サービスでは、お客様が不安にならないよう、独自の基準を満たし、信頼のおける葬儀社のみが担当いたします。
お客様のご希望を伺いながら、葬儀社と一緒に葬儀内容を決めていく形式を採っています。

<他社（インターネットで葬儀を仲介する会社）について>

Q. インターネット掲載の定額プランの中で注意しておくことはありますか？

A. インターネット上で掲載されている「すべて込みを謳ったプラン」の中には、想定外の追加費用が発生する恐れのある品目があり、消費者庁でも注意を呼びかけています。
トラブルにならないよう、プランを選ぶ際には、注釈の内容まで必ず目を通し、確認しておきましょう。

	全国儀式サービス	他社（インターネットで葬儀を仲介する会社）
葬儀内容	○ 葬儀社が遺族のご要望を伺いながら一緒に決めていきます。	△ 最近はずべて込みを謳う定額プランが多いです。
変更・追加	○ 人数増やグレードアップにも柔軟に対応できます。	△ 定額プランのため人数増などへの対応が難しいです。
安置	○ ご遺族の希望に沿って対応します。一部できない所もあります。	△ プランにより面会できない場合があります。
追加費用	△ 参列者数によって変動する品目があります。	△ 火葬料や式場使用料など注意しておく品目があります。
見積書	○ 葬儀社が打ち合わせ後に提示します。	○ 基本はプラン金額の提示となります。
担当葬儀社	○ 独自の基準で契約した信頼ある葬儀社の中から選択できます。その地域で実績・信用のある葬儀社です。	× 契約・提携のない葬儀社を紹介されることも。
対応エリア	○ 全国に対応しております。	○ 一部では地域が限定される場合があります。
その他	△ 費用を知りたい場合は見積り依頼が必要となります。	△ 故人様との対面時間がどれくらい取れるか確認が必要です。

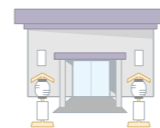
■プランに含まれているが追加で費用が発生する恐れのある品目例

運営スタッフ



参列者が増えるとスタッフも増員され、料金が増える恐れがあります。

式場使用料



希望する式場によっては、追加費用が発生する恐れがあります。

葬儀の形式



神式やキリスト教式の場合は、追加品目が発生して、料金が増える恐れがあります。

安置



「付き添いでの安置」を希望する場合は、追加費用が掛かる場合が多いです。また費用内で安置できる日数が設定されていることが多いため、葬儀の日程によっては費用が増えることがあります。

■プランに含まれておらず別途費用が掛かることが多い品目例

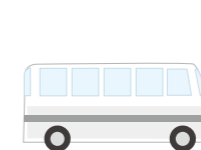
会葬返礼品や即日返し



火葬料



火葬場へ同行する際のマイクロバス



通夜振る舞い



精進落とし



7. 用語集

打ち合わせの際にご活用ください。

< 打ち合わせでよく出る項目 >

菩提寺 (ぼだいじ)

- 先祖のお墓や納骨堂などがあるお寺のことです。
- 菩提寺がある場合は、万が一の際に連絡して葬儀の依頼をします。
- 遠方の場合でも、必ず一報を入れ、お越しいただけるか確認します。
- 信仰やお付き合いの度合いによって、お布施の金額も変わります。



ご遺影 (ごいせい)

- 祭壇の中央に据える故人様の写真です。
- 写真のサイズや加工・修正、額の種類などで費用が変わります。
- カラー写真が主流ですが、葬儀社によってはモノクロ写真が基本品目の所もあり、変更した場合に費用が上がります。



寝台車 (しんだいしゃ)

- 故人様を安置場所へ搬送する車です。
- ご自宅などから葬儀場への搬送にも使用されます。
- 搬送する距離によって費用が上がります。
県をまたぐなど長距離になる場合は、事前に費用を確認しておきましょう。
- また長距離を搬送する場合、葬儀を依頼する葬儀社がお迎えに行けないこともあります。その時にはお亡くなりの方の場所に近い葬儀社に搬送のみ依頼したり、複数の葬儀社がリレー形式で搬送して対応します。



霊柩車 (れいきゅうしゃ)

- お棺に入った故人様を火葬場へ搬送する車です。
寝台車とは用途が異なります。
- 火葬場が併設された斎場で葬儀を行う場合は、搬送が不要のため、霊柩車も不要です。



安置 (あんち)

- 納棺までの間、故人様を布団に寝かせた状態にすることを言います。
- 法律により、お亡くなり後24時間は火葬ができないため、その間は安置しておく必要があります。
- 火葬場の予約状況によって安置日数が長引くと、その分だけ費用が増えてしまいます。



< 遺族の意思だけによらない項目 >

お布施 (おふせ)

- 僧侶にお渡しするお礼(として包むお金)のことを言います。
- 通夜および葬儀・告別式での読経や戒名に対してのお礼です。
- 金額はお越しいただいた僧侶の数や信仰の度合い、戒名の位の高さによって変わりますが、僧侶に相談して決めることが多いようです。

御車代 (おくるまだい)

- お越しいただいた僧侶にお渡しするお礼(交通費)です。

御膳料 (おぜんりょう)

- 僧侶が通夜振る舞いや精進落としの席に着けなかった場合にお渡しするお礼です。

戒名 (かいみょう)

- 仏様の弟子として与えられる名前で仏名とも呼ばれます。また浄土真宗では「法名」、日蓮宗では「法号」と言います。
- 本来は生前に与えられますが、実際に生前から持っている人は少なく、お亡くなり後、葬儀までに菩提寺の僧侶に授けていただくのが一般的です。

火葬料 (かそうりょう)

- 火葬にかかる費用のことで、自治体によって金額が異なります。
また故人様がその自治体の住民か否かによっても異なります。

ご遺体保存用品 (ごいたいほぞんようひん)

- 故人様の状態を保つための品目(ドライアイス)です。安置の日数分だけ必要になります。
- 都市部の年末年始は火葬の予約が取れないことが多く、1週間以上、安置する場合があります。

7. 用語集

< 費用が変動しやすい項目 >

会葬返礼品 (かいそうへんれいひん)

- 通夜や葬儀・告別式に参列していただいた方へのお礼の粗品です。香典に関係なくお渡しする品で、香典返しとは異なります。
- 会葬礼状と一緒にお渡しします。
- 一人につき500円～1,000円くらいの品が選ばれます。



香典返し・即日返し (こうでんがえし・そくじつがえし)

- 香典をいただいた方へのお返しの品です。
- 忌明けに行うのが一般的ですが、地域によっては通夜や葬儀・告別式の時に用意して、帰りに渡します(そのため即日返しと呼ばれます)。
- 通常は香典額の2分の1～3分の1の品を贈りますが、即日返しの場合は一律の額の品を用意します。



通夜振る舞い (つやぶるまい)

- 通夜の際に弔問者へ振る舞う飲食の接待のことを言います。
- 故人様の供養として、僅かなものでも口に入れてもらうことが習わしとなっています。地域によっては行わない所もあります。
- 大皿料理での提供が一般的です。お清めの意味でお酒も出します。
- 弔問客の数を想定して用意します。



精進落とし (しょうじんおとし)

- 本来は、忌明けの際に行う飲食の宴のことを言います。遺族は、家族の死から四十九日間は生ものを口にせず、不浄なものを避ける習慣があり、忌明けと共に精進落としを行っていました。
- 最近は、火葬後に斎場へ戻って、初七日法要に続いて行うことが多いです。場合により火葬中の待ち時間に行われることもあります。
- 僧侶を始め、葬儀でお世話になった方々を労う意味も含んでいます。
- 出席する方の人数分を用意します。



< 費用自体が大きい項目 >

祭壇 (さいだん)

- 故人様に対して供物をそなえ、礼拝を行うための壇で式場の中心に据えられます。
- 大きく分けて2つの種類(白木祭壇・花祭壇)があります。
- 葬儀の規模(会葬者の数や式場の広さ)に合わせたサイズにするのが一般的です。
- 種類やサイズによって費用が変わります。



お棺 (おひつぎ)

- 故人様を納めます。
- 身長が高い場合や体格が良い場合には、大きいサイズへ変更する必要があります。費用も上がります。
- 素材やデザインなどでも費用が異なります。



式場・斎場 (しきじょう・さいじょう)

- 通夜および葬儀・告別式を行う会場です。
- 想定される参列者の数に合わせた広さにします。
- 広さによって費用が変わります。
- 儀式を行う日数分(通常は2日分)の費用が掛かります。

